

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース

令和4年 6月

vol.7



多摩市高齢者在宅療養支援窓口は町の身近な在宅療養の相談窓口として、多摩市医師会館内にあります。
医療・介護・福祉関係者からの在宅療養・介護療養に関する相談や、入退院に際しての医療・介護関係者からの相談、患者・家族からの在宅療養に関する相談を受けています。

令和3年度の相談実績

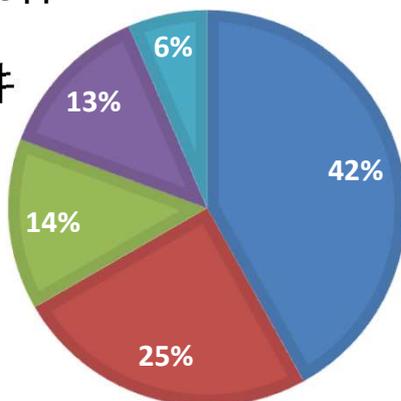
★令和3年度相談件数 実数93件

(医療介護関係者58% 市民42%)

介護サービス事業所他6件

医療機関・歯科12件

地域包括支援
センター13件



市民39件

ケアマネジャー
23件

★在宅療養を支える医療機関の情報提供等ができます。
医療介護関係者の皆様のご相談をお待ちしております。
◎裏面に事例を載せておりますのでご覧ください。

◆増えてます認知症の相談◆

認知症に関する相談は、年々増えています。多摩市は、認知症ケアパスや認知症初期集中支援チーム、家族会や当事者の会等、本人・家族を支える活動を行っています。もの忘れについての相談は、かかりつけ医や地域包括支援センターにご相談する事をお勧めします。誰でも、認知症になる可能性があります。身近な人や心配なことがあれば、早いうちから相談し、認知症であっても無くても自分らしく過ごせて、支え合える地域にしていければいいですね。



多摩市高齢者在宅療養支援窓口

住所: 多摩市永山5-15 【多摩市医師会館内】

電話: 042-357-1677

受付: 月～金【祝祭日・12月29日～1月3日除く】

10時～16時

担当: 淵野・石岡

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース 令和4年 6月



様々なご相談があります

相談事例 1 A氏 80代

(介護支援専門員から)入院中の認知症の方が退院するにあたり、内科と認知症を両方診てくれる訪問可能な診療所を教えて欲しい。

→内科と認知症の両方を見てくれる医療機関を紹介。その後、訪問診療を受けることができ、在宅での生活を継続している。



相談事例 2 B氏 80代

(市民娘から)一人暮らしの父が最近、置き忘れや、日時間違い、名前が出てこない等の物忘れが出てきて心配。物忘れを診てくれる所を紹介して欲しい

→相談窓口で、もの忘れ外来を実施している医療機関を紹介する。一人暮らしのため、担当地域の包括支援センターを紹介する。

⇒もの忘れ外来を受診され、外来で「知って安心認知症」の説明を受ける。介護保険の申請代行を地域包括支援センターが実施。介護度が出て、ケアマネジャーがケアプランを作成、通所介護サービスを利用され楽しくデイに通われている。



相談事例 3 C氏 90代

(地域包括支援センターから)認知症の方が、腰痛がひどくなり、認知症と整形外科の両方を診てくれる所を紹介して欲しい

→整形外科と認知症の両方を診てくれる医療機関を紹介し、受診ができて、腰痛が改善された。

多摩市では、多職種が連携しながら在宅療養生活を支援します。様々な相談がありますが、お気軽にご相談ください。必要な機関に繋げ、住み慣れた地域で、自分らしく、安心した生活が送れるように支援したいと思います。

電話042-357-1677 (月～金)10時～16時

